

2013年1月29日
三菱UFJニコス株式会社
株式会社クレメンテック

三菱UFJニコスと通信端末機器販売のクレメンテックが共同開発

iPhoneをPOSレジとして代用！クラウド型マルチ決済システム「J-Mups」に新方式を投入！

～iPhoneを多機能リーダーで包み込み連結させる画期的なサービス「Poke Pos for J-Mups」始動～

三菱UFJニコス株式会社（東京・千代田、和田哲哉社長）と通信端末機器販売の株式会社クレメンテック（東京・千代田、武内寛社長）はこの度、iPhone（またはiPad touch）を多機能リーダーと連結させ、クレジットカード・銀聯カードなど複数の決済処理ができる新サービスを共同で開発、2月1日から加盟店向けに提供を開始します。

新サービスの名称は「Poke Pos for J-Mups（ポケ・ポス・フォー・ジェイマップス）」。昨年7月に三菱UFJニコスとJR東日本メカトロニクス株式会社が共同で開発した、クラウド型マルチ決済システム「J-Mups」の端末バリエーションの一つとなるものです。なお、クレメンテックが「J-Mups」用に当該アプリケーションを開発し、両社で新サービスとして仕上げました。

※「Poke Pos」とはiPhone（iOS端末）の決済アプリケーションの名称です。

新サービスは、専用決済端末を使わずに、ケース形状（箱型）の専用リーダーの中に、iPhoneを挿入し装着させる仕組みで、iPhoneをリーダーで包み込むように合体・連結させ、スマートに利用（決済）が可能となるものです。また、加盟店のPOS（販売時点情報管理）システムとの連携が可能で、据え置き型レジを補完し、接客しながらカード売上げ処理ができる“モバイルPOS”の役割を担えることが大きな特徴。なお、iPhoneや専用リーダーにカード情報が残らない設計となっており、安全な決済処理が可能です。

今回の専用リーダーは、決済端末メーカー世界最大手、仏・インジェニコ社製の高性能機種「iSMP」を採用。「磁気カード」と「接触ICカード」、「非接触ICカード（NFC対応）」、あるいは「商品バーコードの読み取り」、「暗証番号（PIN）入力」の5機能を一台でこなす画期的な仕様となっています。

なお、新サービスで利用できる決済は、「クレジットカード（接触ICカードは3月上旬から）」と「銀聯カード」となっており、順次、「ジェイデビット（J-Debit）」、「ポイント制度」など、取り扱いメニューを拡大していく計画となっているものです。

両社では、コンパクトで持ち運び可能なこの仕組みの特性を活かし、レジ前に行列ができる大型店や常設の電話回線がない催事会場のほか、多様な業種（レストランやホテル、高級ブランド店やアパレル店等）に導入を働きかけていきたいと考えています。

以上

参考資料

<「Poke Pos for J-Mups」の概要>

1. リーダライターの概要

名称	iSMP
メーカー	インジェニコ社(フランス)
機能	・磁気カードリーダー ・接触ICカードリーダー ・PINパッド ・非接触ICカードリーダー(NFC対応) ・1次元+2次元バーコードリーダー
特徴	・軽量コンパクトで持ち運びに優れた形状。ハイスペックな機能を搭載。 ・様々な決済シーンに柔軟に対応でき、加盟店ニーズに応じたオペレーションの構築が可能。

2. アプリケーションの概要

名称	Poke Pos(ポケ-pos)
発行元	クレメンテック
対応 OS	iOS5、iOS6
決済機能	<平成 25 年 2 月 1 日リリース> ・クレジットカード決済(磁気のみ) ・銀聯カード決済 <平成 25 年春以降リリース予定> ・接触ICクレジットカード決済 <平成 25 年夏以降リリース予定> ・ジェイデビット(J-Debit)決済
その他機能	<平成 25 年春以降リリース予定> ・電子クーポン:クレジットカード利用に応じ、設定された割引や特典クーポンの発行機能 ・売上報告:ディベロッパー管理者に対し売上金額等の送付を行う機能 ・音声入力:タッチパネル操作ではなく音声で金額等の入力が行えるようになる機能 <平成 25 年夏以降リリース予定> ・POS ベンダー様向け連携機能: 棚卸し、在庫管理アプリ等との連携 ・ポイント対応: PokePos をポイント処理端末とする機能 ・ギフトカード対応: PokePos をギフトカード処理端末とする機能
特徴	・iOSを使用することにより、決済業務のみならず多様な業務系アプリを一つにまとめることができ、汎用性が高い。

※ iOS・・・アップル社の携帯端末用基本ソフト(OS)

3. 対応機種

iPhone 4～4S

iPod touch 第4世代

4. デザイン



	外形寸法(mm)	重量(g)
iSMP	W 73 × D 133 × H 33	216

5. サービス導入の流れ

「Poke Pos for J-Mups」は、お申し込みから約 2 週間(※)でお届けします。

※加盟店契約の手続き、他カード会社様との接続にかかる期間を除く。

- (1) 申し込み : 専用の「利用申込書」に必要事項をご記入いただきます。
※クレジットカード、銀聯カードの加盟店契約が別途必要です。
- (2) 端末配送 : ご指定の本部/店舗へ、機器(専用リーダライタ)を配送します。
- (3) 端末設定 : インターネットに接続し、簡単な初期設定をしていただきます。
※有料で、作業員派遣による訪問セッティングもご用意しています。
- (4) 利用開始 : 設定後すぐにご利用いただけます。

<クラウド型マルチ決済システム「J-Mups」の概要>

1. 「J-Mups」とは

平成24年7月に三菱UFJニコスとJR東日本メカトロニクスが共同で開発、専用のコンピューターサーバーに決済アプリケーションを集約し、加盟店に設置の決済端末からインターネット経由で利用(決済)できる仕組みです。クレジットカード・銀聯カード・交通系電子マネー・ジェイデビット(J-Debit)の決済を同一端末で処理でき、「拡張性」「決済端末の低価格」「高セキュリティ」「クレジットカードの高速処理」を実現した次世代型決済基盤となります。

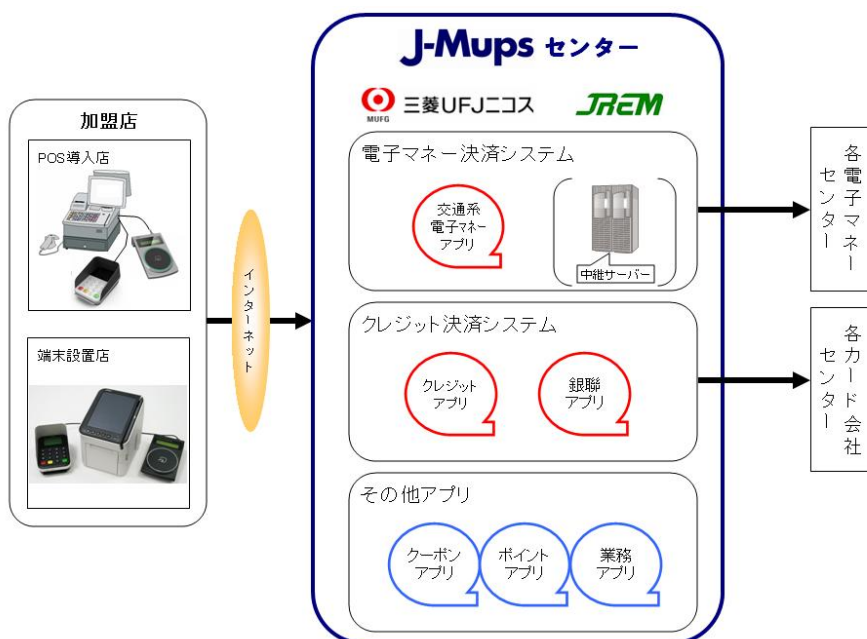
2. 主な特徴

- (1) 拡張性 : クレジットカード・銀聯カード・交通系電子マネーの他、各種規格の電子マネーに対応。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も提供可。
- (2) 低価格 : 従来に比べ低価な決済端末・非接触型リーダライタ。POSレジにも接続可。
- (3) 高セキュリティ : 端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。
- (4) 高速処理 : クレジットカードの処理速度が1~2秒(一般的なアナログ回線の場合10~20秒)

3. 端末デザイン



4. スキーム図



<株式会社クレメンテックの概要>

株式会社クレメンテックは、お客様(エンドユーザ・クライアント様・関係各社様)の最大利益を創出し、インターネット・モバイル・放送・新聞・雑誌・看板・家電等々、従来、メディアとして障壁があったサービスを融合し、お客様にとってより「寛容」で「有益」なサービスとしてご提供いただけるようにテクノロジー面からバックアップをしている会社です。

クレメンテックとは、クレメンティア・テクノロジーの略です。

クレメンティアとは、ラテン語で「寛容」を意味します。

【主な事業内容】

- ・業務系サービス…決済システムパッケージ、ワークフローシステム、アカウントプロフィールシステム等
- ・メディア系サービス…eラーニング構築パッケージ、会員管理パッケージ、サイト制作等
- ・インフラ系サービス…ソフトウェア開発、エンジニア派遣、インフラ構築、システム運用
- ・コンサルティング…システムコンサルティング、業務コンサルティング、新規事業コンサルティング

今回リリースいたします本サービスにおいては、前述の通りアプリケーションの開発、また周辺機器の販売・発送作業も請け負います。販売・発送およびキットニング(端末初期設定)に関してはダイワボウ情報システム株式会社様にもご協力して頂いております。

<ダイワボウ情報システム株式会社より>

「ダイワボウ情報システム株式会社は、新サービス「Poke Pos for J-Mups(ポケ・ポス・フォー・ジェイマップス)」のリリースを、決済システムの新しい形を実現するものとして歓迎致します。また、弊社において、本サービスのキットニング作業(端末初期設定)、及びiSMP・iOS 端末のストックポイント(在庫拠点)を承らせて頂くこととなり、重大な責任を感じております。決済業界に新たな風を送り込むサービスの一端を担い、スマートフォン等のモバイルデバイスを利用した市場開拓に携われる事を、大変喜ばしく思います。」

ダイワボウ情報システム株式会社

取締役 販売推進本部長

豊田 恵造